クリスマスの疑問

サンタ研究家に聞く

セミナー開催／3部構成で謎に迫る

サンタセミナー サンタ捜索チームが捜査員に向け、定期的に開催する内部勉強会。サンタ研究の権威サリバン・ウィリアム博士など研究家を講師に招き、過去の資料や文献も参考に、あらゆる角度からサンタについて学ぶ。

1日、サンタ捜索チームは北海道新聞社本社（札幌）で捜査員向けの勉強会「サンタセミナー」を開催。全道各地から捜査員が参加した。セミナーは3部構成。第一部は、世界各国を旅しながらサンタの行方を追う〝サンタ冒険家〟今宮聖人（いまみや・まさと）氏による講演、第二部は過去にサンタの不思議な現象に遭遇した捜査員の講演や過去事例からサンタと遭遇した際の対処法を検討、第三部ではサンタ研究家アダムスキー博士による講演と質疑応答が行われた。

「サンタセミナー」で登壇する研究者の一人＝12月1日、北海道新聞社本社

「サンタセミナー」の目的は、サンタ捜索力の強化。例年、サンタ捜索の本格化する12月に、チーム内の全捜査員を対象に開催している。捜査員200人に加え、今年は初の試みとして一般からも参加者を募集。サンタ研究の最前線を学ぼうと、抽選で選ばれた25人が参加し、会場は捜査員やファンの熱気に包まれた。

冒険家も登壇

第一部で登壇したのは、サンタ冒険家・今宮聖人氏。今宮氏はサンタの存在を信じ、2000年ころから各国を巡回。世界中の夢見る親子にサンタについて取材し、サンタの謎の解明に力を入れており、05年にはこれまでの知見をまとめた「サンタ見聞録」を発表。サンタが従来住んでいた北極で食料が不足し、トナカイに餌をあげることができなくなったため、フィンランドのラップランドに引っ越した「フィンランド在住説」を唱えている。

同氏は捜査員に向け「世界中の親子がサンタを愛し、捜索に協力してくれる。未知のものを知りたいという強い気持ちを持つことが大切」とアドバイスし「夢を諦めずにがんばって」とエールを送った。

第二部はサンタ捜索チームの三田本部長や過去にサンタの不思議な現象に遭遇した捜査員らの体験談が発表され、昨年のクリスマス・イブに羊蹄山でサンタの影を目撃した捜査員が当時の様子を詳しく紹介。捜査員たちは興味深く話に耳を傾けていた。さらに、ベテラン捜査員らによる捜索のコツの伝授や実際にサンタに遭遇した時を想定したロールプレイングも行われた。

サンタに関する質疑応答も

第三部では、サンタ研究の第一人者、アダムスキー博士らが登壇し、研究内容を紹介。捜査員からの質問に答えた。Q&A方式で質疑応答の一部を紹介する。

Q、この時期のサンタは何をしているか。

A、1990年の調査結果から、12月上旬のサンタはプレゼント準備に追われているはず。手配数に過不足がないかを確認し、調整している段階と思われる。

Q、サンタのパートナーはなぜトナカイなのか。

A、人口学と歴史・地理学の見地から、元々サンタが一人でプレゼントを配っていたが、夢見る子どもたちが増え、各国を回るのにそりを引ける動物が必要になった。同じ寒冷地に住んでいたトナカイに手伝いを頼んだことから、現在の形式になったという見解が一般的である。

Q、サンタはなぜ夜にプレゼントを配るのか。

A、これまでの文献から17世紀ころからサンタは夜に活動していることがわかっている。シャイな性格といわれているが、多くの子どもたちにプレゼントを配らねばならないため、人々が寝静まっていて活動しやすい夜を選んだのではといわれている。

どうしん夢プロジェクト

野口観光が全面協力

全道の各施設にて サンタ捜索め し提供

全道各地で温泉旅館やホテルを展開する「野口観光グループ」が、今年もサンタ捜索チームに協力することが明らかになった。同社は、2014年にサンタをもてなし、癒しと活力を提供すべく「サンタめし」を独自に開発し、グループ全体でサンタを迎える用意をしている。今年はおもてなしの心をさらに拡大させ、サンタ捜索に全面協力する。

同社によると、サンタ捜査員の「捜査・発見力」が高まるよう捜索に協力するという。その一つは、サンタ捜索時における休憩施設の提供。23日～25日の本格捜索時、道内の各地にある同グループ運営施設に捜索員の休憩スペースを提供する。施設内にある温泉も無料としており、厳しい寒さの中で捜索を行う捜査員にとってうれしい内容だ。

また、同グループで人気を得ている「直送！市場めし」をアレンジした「サンタ捜索めし」を捜査員へ提供。食に力を入れている同グループらしく、「道産鱈とジャガイモのミルク鍋」や「愛別きのこたっぷりカレー」といった旬の食材を使ったこだわり料理で、捜査員のエネルギーの素も全面的に支える構えだ。野口観光の担当三浦さんは、今回の内容について「道産鱈や北海道ならではの食材を、総料理長が大胆にアレンジしました。きっとサンタ捜査員の皆さんの力になるはず」と自信をのぞかせる。

「サンタ捜索めし」として提供される「道産鱈とジャガイモのミルク鍋」

サンタ捜す練習に独自イベント実施

野口観光では、こうしたサンタ捜査員への施設・料理提供のほか、同施設内にて独自イベント「温泉でメリークリスマス！サンタを見つけて楽しいクリスマス♪」を実施すると発表した。これは、同グループが運営する旅館やホテルに宿泊し、滞在中に施設内にいるサンタに合言葉を伝えてスタンプを集めると、特典が付与されるというもの。イベントを通じてサンタを捜す練習を重ね、一般客の「サンタ捜索能力」を高める目的だ。すでに今月1日から各施設でスタートしており、初日から多くの宿泊客がサンタを探しているという。

この取り組みについて、担当の三浦さんは「大人も子どもも楽しめるイベント。サンタは施設内どこに登場するかわかりませんが、リラックスしながら捜すと見つけやすいかも。ぜひ当施設に宿泊し、サンタを捜す練習を重ねてほしいですね」と笑顔で話した。同イベントは今月25日まで、道内各地の野口観光各施設で実施される。

サンタ姿でイベントをPRする野口観光担当者＝11月30日

野口観光 層雲峡温泉 朝陽亭（外観）

どうしん夢プロジェクト 広告企画

クリスマス 旅行のすすめ

卓上サンタ

今年のクリスマスは三連休。例年よりもその過ごし方の選択肢が広がり「クリスマスに何をしよう」と考え、計画を立てる人も多いのではないだろうか。

お薦めなのが旅行だ。中でも、温泉旅行が良いだろう。温泉で体を温め、疲れを癒やしたりしてリフレッシュしてみてはどうか。毎日の喧騒から離れた非日常の世界でゆっくりすれば、家族や大切な人との仲も深まる。

温泉王国・北海道には、この時期ならではのおいしい料理やイベントを開催する場所も多い。大切な人に一年の感謝を込め、旅行をプレゼントしてみてはいかがだろう。

「せんそうがなくなりますように」

DOBOXで特別イベント

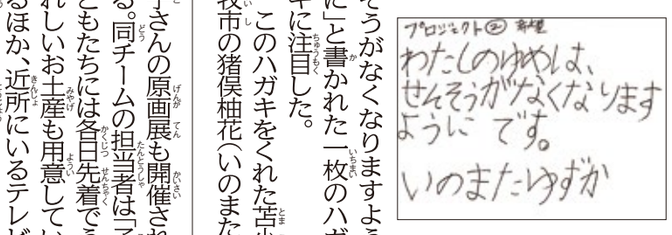
今月23、24日開催

どうしんサンタ捜索チームは、23日、24日、クリスマスイベント「ぶんちゃんサンタのおうちでクリスマスパーティー」を道新プラザDOBOXで開催する。同チームが今年のテーマである「子どもの夢」を体感してもらおうと企画したイベントで、道新のマスコットキャラクターぶんちゃんがサンタに扮した「ぶんちゃんサンタ」が登場する。会場ではクリスマス装飾が施されたぶんちゃんサンタの家が設置され、絵本コーナーやミニコンサート、「クリスマスの夜に」の作家、西川律子さんの原画展も開催される。同チームの担当者は「子どもたちには各日先着でうれしいお土産も用意しているほか、近所にいるテレビ父さんの登場もあるかも。ぜひ親子で遊びに来て、夢のような1日を過ごしてください」と話す。

サンタ特設WEB公開中

1日、サンタ捜索チームは、サンタ捜索活動をWEBで紹介する「サンタ捜索WEB」を公開。過去6年間の捜索状況を確認できるほか、同チームの体制図や活動目的、サンタに関する情報などを紹介する。なお、例年発表している「サンタの予測進路」は現在精査中で、公開は12月中旬を予定。また、同チームのフェイスブックも更新し、同チームの日々の活動やサンタに関する情報を今月25日まで発信する。

読みがな入り紙面が見られる！
サンタ捜索WEB
DOSHIN SANTA SEARCH
「我が家のサンタさん」募集中！
お子さんやペット、ご家族のサンタ姿を投稿しませんか？
サンタ捜索WEB内から投稿可能！
http://adv.hokkaido-np.co.jp/santa/



ゆずか）さん（7歳）によると、新聞やテレビで毎日、戦争のニュースが報道されるのを見て心を痛めていたことから願いを送ったという。三田本部長は「平和を願う優しい心に胸を打たれた。猪俣さんと同様、サンタさんも戦争のない世界でプレゼントを渡したいだろう。世界中の人の願いを代弁してくれてありがとう」とコメントしている。

企画制作／北海道新聞社広告局
この広告企画はお子さまと楽しんでいただくため、夢のある構成となっています。フィクションを多く含みますがご理解、ご了承願います。次回は12月中旬朝刊予定。

（C）北海道新聞社 無断転載、複製及び頒布は禁止します。